8月20（木曜日）「イエス（7）宣教の開始」

【新改訳 2017】

ルカ　4•14-21

「イエスは御霊の力を帯びてガリラヤに帰られた。すると、その評判が回り一帯に、くまなく広まった。イエスは、彼らの会堂で教え、みなの人にあがめられた。」（14、15 節）

ルカは、イエスの荒野における誘惑の後、すぐガリラヤ宣教を書いていますが、実際にはこの間にはかなりの期間があって、大事な出来事もありました。この間の事情は、ヨハネの福音書 1 章 35 節から 4 章 42 節に詳述されています。漁師たちとの出会い、カナの婚礼での奇蹟、ニコデモとの対話、サマリヤ人の回心などです。これらのことの伝聞によって評判が広まったのでしょう。

ところで、イエスがガリラヤ地方で宣教を開始したことは、イザヤの預言の成就でした（イザヤ9•1、2）。また、ナザレの会堂ではイザヤ書61 章を読み、預言された「油注がれたわたし」とはイエスご自身であると宣言されました。主のメシヤ宣言だったのです。

神のみわざは、一歩一歩、確実に進められていたのです。

～祈り～

主よ。一人でも多くの人が、一日も早く、あなたこそ救い主キリストであることを信じることができるようにお導きください。

【学びのために】

福音書の読み方について:マタイの福音書、マルコの福音書は、「共観福音書」とも言われます。それは、多くの共通する記事が書かれているからです。しかし、少しずつ記述の仕方が違うところもありますので、比較して読むと更によく理解できます。